## 苦情相談テスト

平成30年度における苦情相談テストの総件数は12件であり、前年度と比べて2件の増加となった。分類別で一番多かったものがクリーニング(被服品)に関するもので4件、33.4%であった。そのほか、被服品、車両・乗り物に関するものが各2件、16.7%、食料品、保健衛生品、教養娯楽品、土地・建物・設備に関するものが各1件、8.3%であった。

また、12件のうち、原因究明のために独立行政法人国民生活センターへ2件のテスト を依頼した。

/4. */.	件	数	項目	目数	検体	本数	件数/全	体 (%)
件 数 分 類 (※)	Н30	H29	H30	H29	Н30	H29	Н30	H29
食 料 品	1	2	3	3	2	9	8.3	20
住 居 品	0	2	0	3	0	2	0	20
光熱水品	0	0	0	0	0	0	0	0
被服品	2	2	5	2	2	3	16. 7	20
保 健 衛 生 品	1	0	8	0	2	0	8.3	0
教 養 娯 楽 品	1	2	1	2	1	2	8.3	20
車両・乗り物	2	0	2	0	2	0	16. 7	0
土地・建物・設備	1	0	2	0	3	0	8. 3	0
その他の商品	0	1	0	1	0	1	0	10
クリーニング(被服品)	4	1	4	1	10	2	33.4	10
クリーニング(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	12	10	25	12	22	19	100	100

※分類は、(独)国民生活センターの「消費生活年報」による

## <主なテスト事例>

分 類	安全性テスト	品質テスト		
食 料 品	ヨーグルトの異物混入	_		
被 服 品	_	スーツの解れなど		
保健衛生品	染毛剤による色素沈着	_		
教 養 娯 楽 品	_	双眼鏡の破損		
車両・乗り物	_	ポータブルカーナビの故障など		
土地・建物・設備	_	簡易内窓キットの変形		
クリーニング(被服品)	_	ベストの穴あきなど		